

Market **攻めのIR** Breakthrough



番組内投影資料

日経CNBC『攻めのIR～MARKET BREAKTHROUGH』
2021年4月14日放映

株式会社キャンバス

経営理念・ミッション

創業の思い = 基礎研究力で『がんを治したい』



← 基礎研究からがん治療へ

← キャンサー・バスターズ

経営理念とミッション

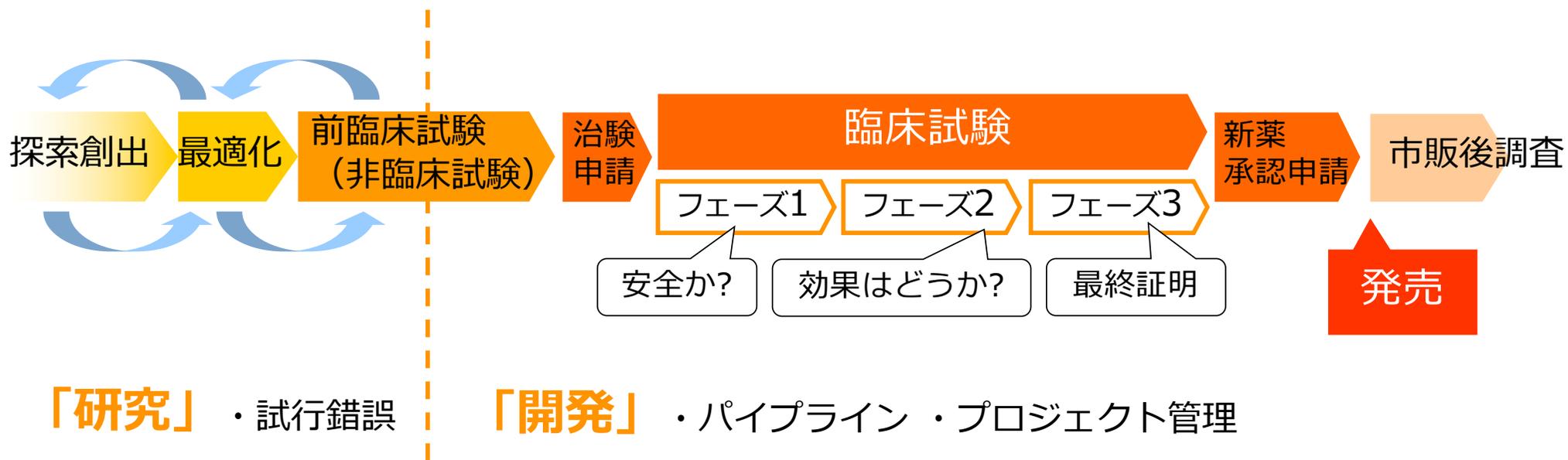
フェアであること

科学的・倫理的・経済的に正しい道を最短の距離と時間で進むこと

より良い抗がん剤を
一日も早く
患者様にお届けすること

創薬

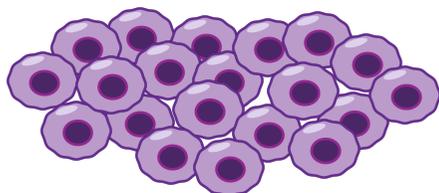
「創薬ベンチャー」の役割



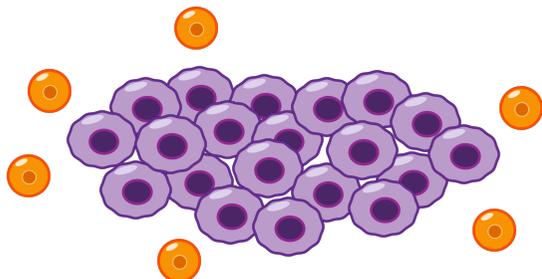
創薬企業の領域 → 拡大へ

免疫系抗がん剤を効きやすくする「免疫着火剤」CBP501

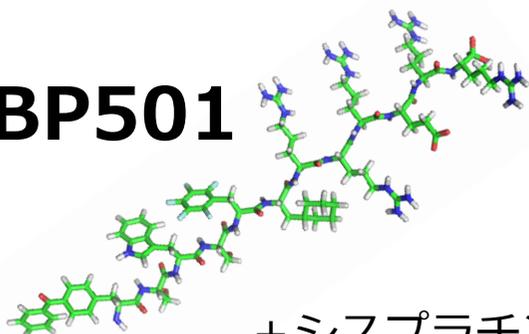
攻撃するための
T細胞がない
免疫砂漠



T細胞ががん組織に
入り込めていない
免疫排除



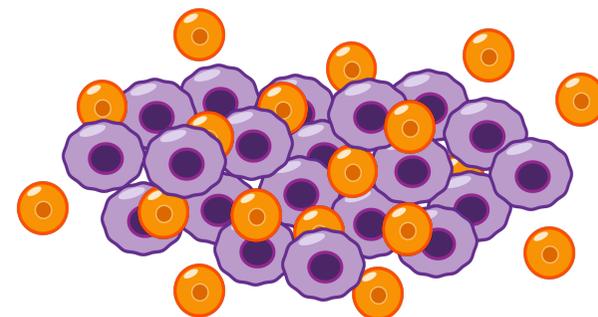
CBP501



+シスプラチン

免疫コールドながん
を
免疫ホットながんに

T細胞が十分に
がんを攻撃できる
免疫ホット



 癌細胞  CD8T細胞

2020年6月期の業績

前期業績のポイント

- CBP501は開発段階で、将来の大きな収益を生むための先行投資赤字を計上
 - ✓ 有効な薬剤の少ない末期臓器がんのフェーズ1b試験で好感触を獲得
- 現状の収益はライセンス供与済み化合物CBS9106のアドバイザーフィー
 - ✓ ライセンス先ステムライン社（米国）がフェーズ1試験を推進中

		前期比	%
事業収益（売上高）	110 百万円	△5 百万円	△4.8 %
営業利益	△566 百万円	△33 百万円	
経常利益	△573 百万円	△39 百万円	
当期純利益	△572 百万円	△116 百万円	

2021年6月期第2四半期の業績

第2四半期業績のポイント

- CBP501・・・フェーズ1b試験費用支出は一段落
 - ✓ FDAとのディスカッションで将来の承認への道筋が明確に見えた
 - ✓ フェーズ2試験の準備を本格始動
- 事業収益はCBS9106アドバイザーフィー6ヶ月分

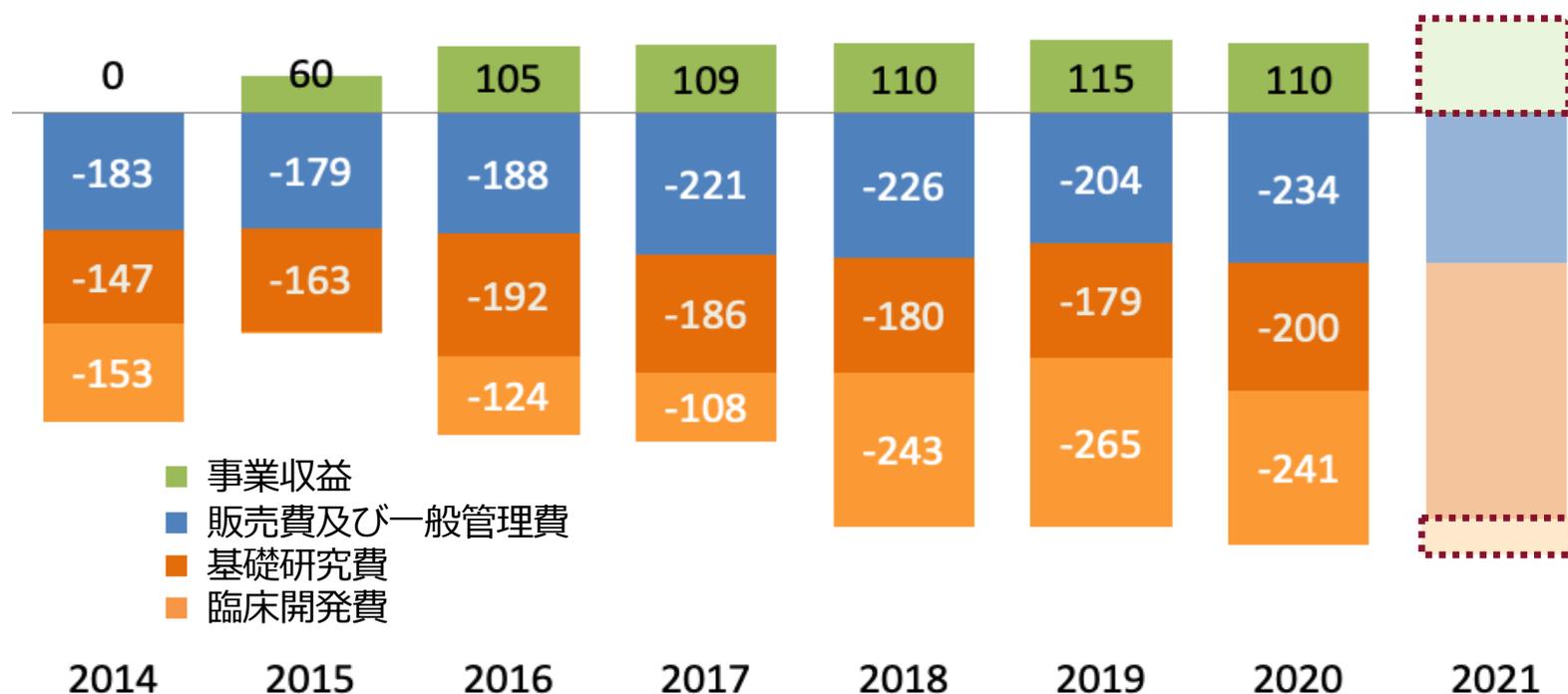
		前年第2四半期比	%
事業収益 (売上高)	55 百万円	+ 0 百万円	+ 0.0 %
営業利益	△328 百万円	△61 百万円	
経常利益	△330 百万円	△59 百万円	
純利益	△310 百万円	△38 百万円	

2021年6月期の業績予想

不確定要因が多く業績見通し非公表

- ✓ 事業収益・・・提携獲得による上積み実現に向け活動中
- ✓ 事業費用・・・フェーズ2試験の2021年央開始に向け準備を加速

➤ 新型コロナウイルス感染拡大の影響はない



キャンパスの強み (1) 基礎研究と臨床開発の緊密な連携サイクル

独自に創出した複数の化合物を臨床開発段階に進めている実績

- ✓ 本社に研究所と動物実験施設を有し基礎研究を継続
- ✓ 米国FDA規制下での臨床開発体制を社内に構築（外部協力機関の効率的な活用）



キャンパスの強み (2) がん免疫に着目したパイプライン戦略

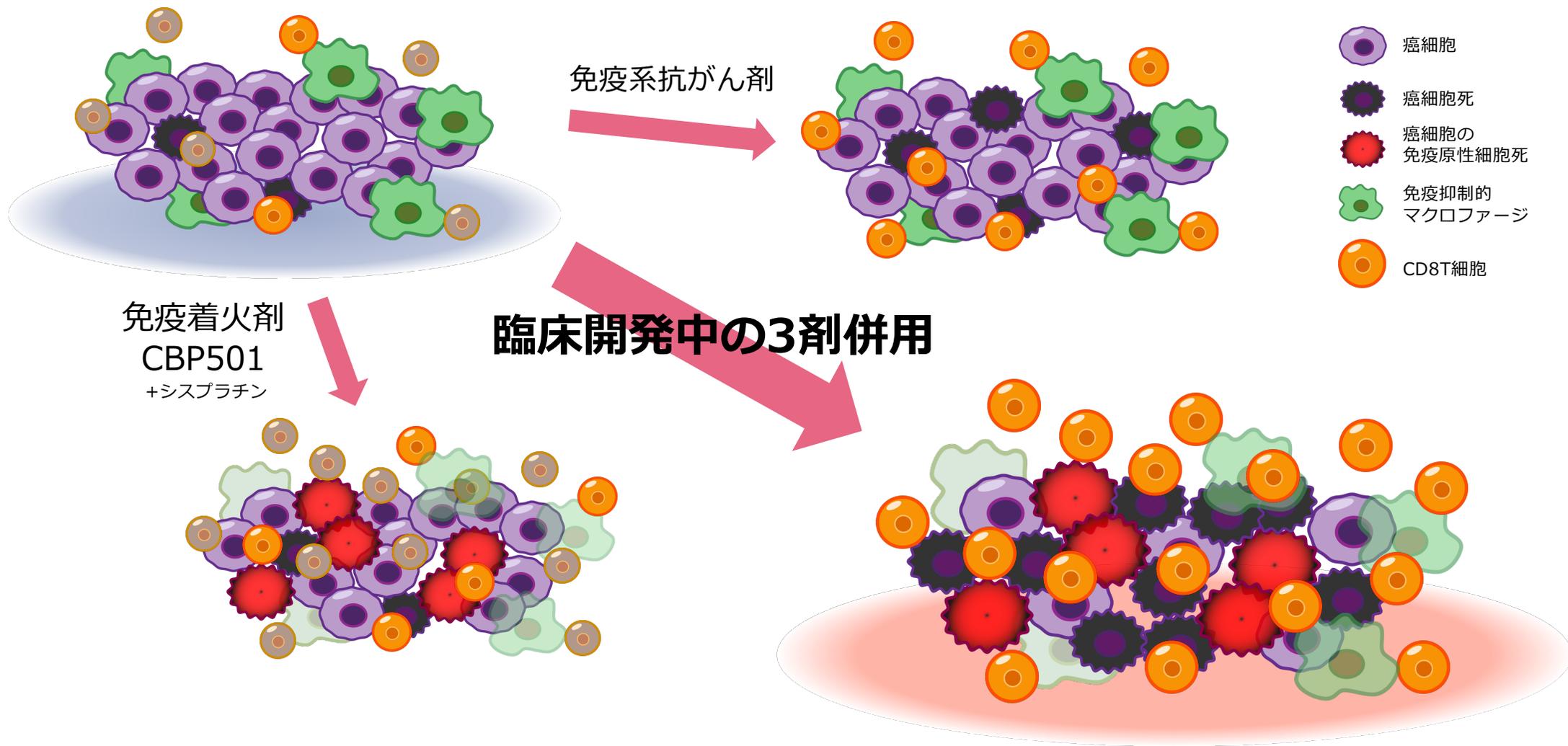
中長期の企業価値の源泉として重視

	探索・創出	最適化	前臨床試験	臨床試験	提携・導出 共同研究
CBP501				フェーズ1b試験終了 第2相試験準備中	
CBS9106	前臨床試験終了し導出済み			フェーズ1試験実施中	ステムライン社
CBP-A08	最適化終了				
CBP-B					
IDO/TDO阻害剤 ほか*					静岡県立大学

※ このほか、NEXTプロジェクトなどががん免疫領域で広く基礎研究を展開

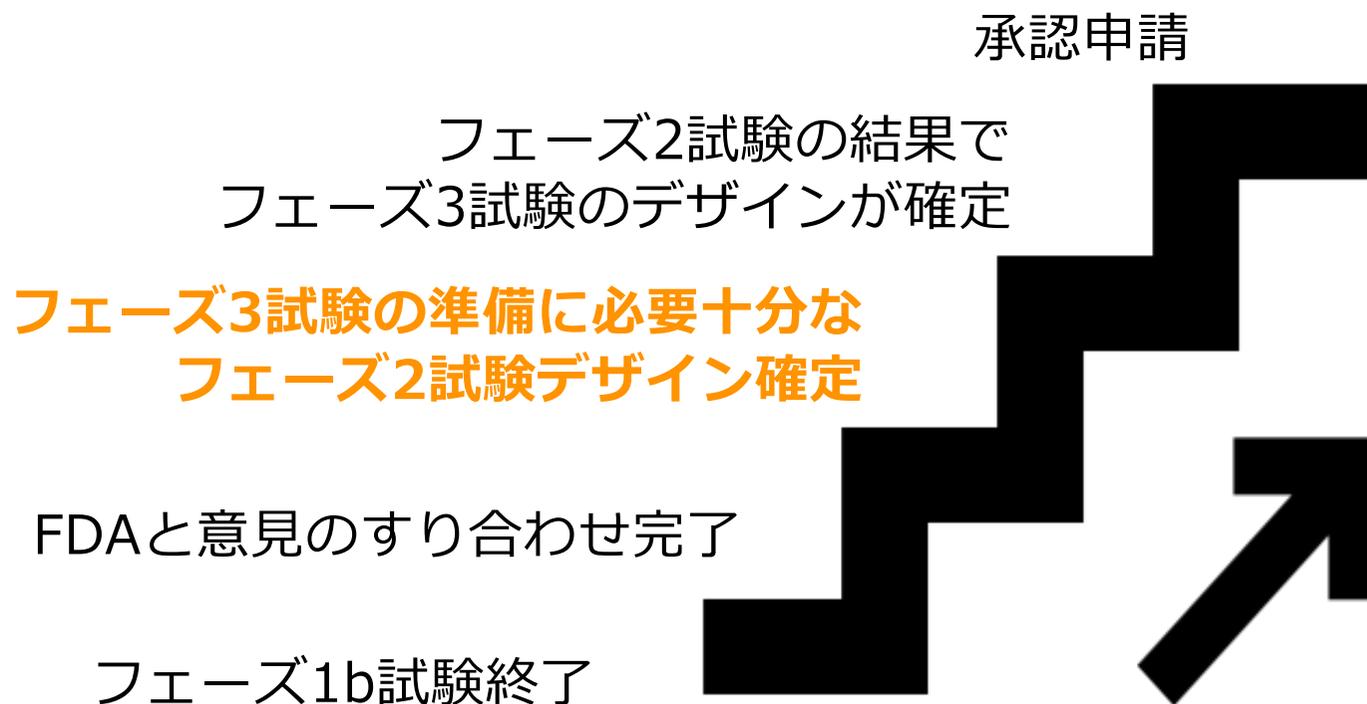
※ IDO/TDO二重阻害剤は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）新規治療薬としての研究にも着手

キャンパスの強み (3) 開発の進んでいる免疫着火剤CBP501



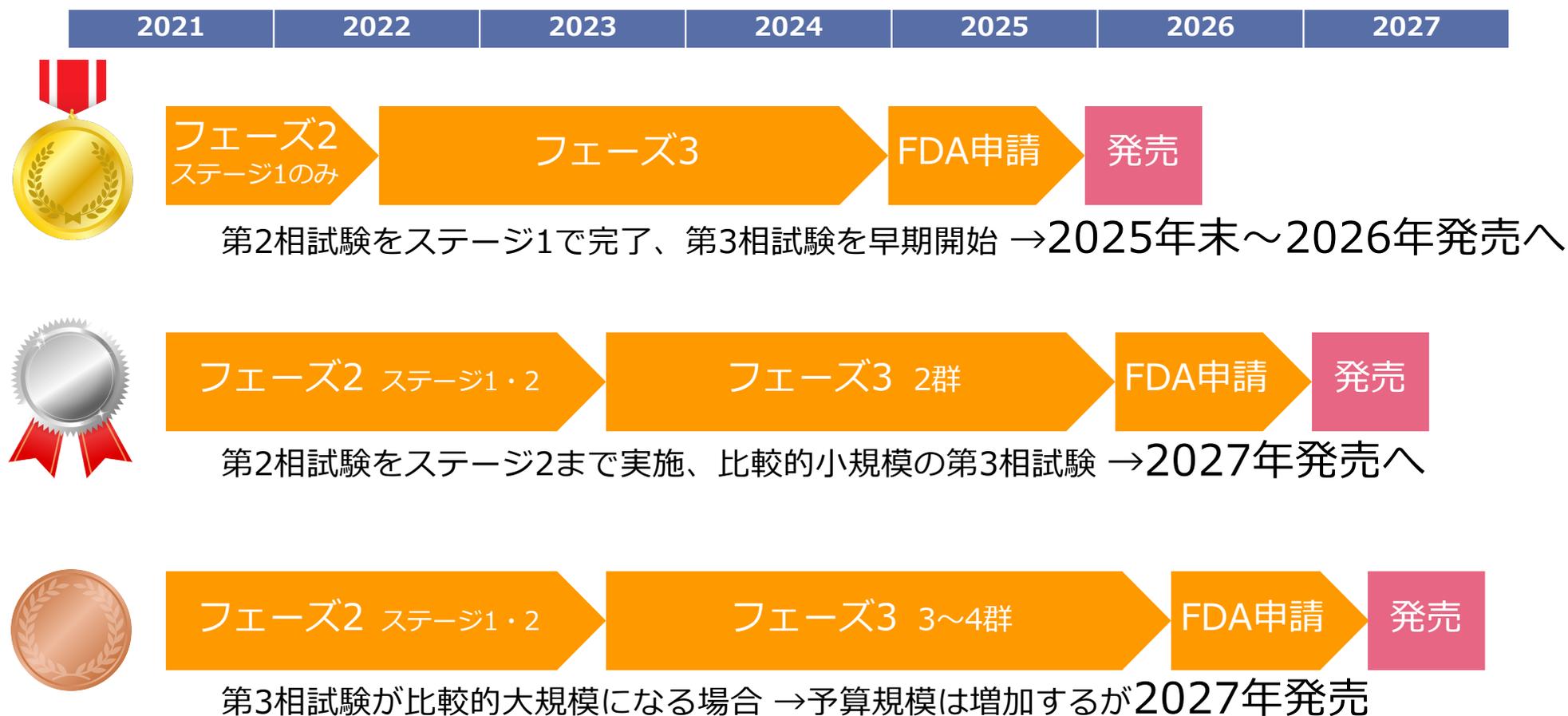
キャンパスの強み (3) 開発の進んでいる免疫着火剤CBP501

FDAとのミーティングで意見のすり合わせができ、承認への道筋が明確に



キャンパスの強み (3) 開発の進んでいる免疫着火剤CBP501

フェーズ2試験以降の時間軸

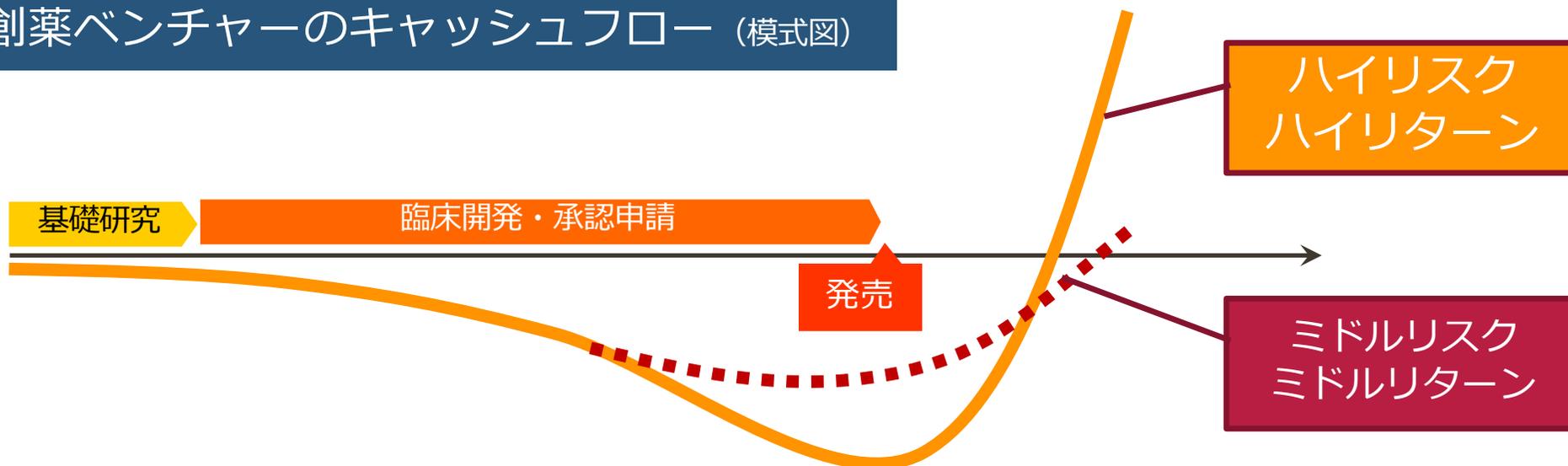


経営課題

開発を支える財務基盤の確立

- 製薬企業等へのライセンス供与による開発資金の肩代わり
 - ✓ 創薬ベンチャーの基本的ビジネスモデルであり、キャンバスもこれが基本路線
- 一方で、製薬企業等へライセンスせず新薬承認まで進む事例も

創薬ベンチャーのキャッシュフロー（模式図）



今後の戦略テーマと施策

基本方針：「フルスタック」の免疫系抗がん剤創薬企業へ



創出から承認まですべて把握し実行できる創薬企業に

基本方針実現に向けた短期～中期の施策

CBP501	2021年央のフェーズ2試験開始、フェーズ3試験の準備も始動
CBS9106	ライセンス先ステムライン社の臨床試験加速を推進 → 収益獲得早期化
後続パイプライン	2022年中に新たな開発パイプラインを追加 → 中長期企業価値の源泉を拡充
IR	開発の進展による本質的な企業価値向上をお伝えする積極的IRの推進